

# 2025年10月期第1四半期 決算補足説明資料

---

株式会社CAICA DIGITAL(2315)

2025年3月14日

01	概要	03
02	2025年10月期 第1四半期決算	21
03	2025年10月期 通期業績見通し	30
04	中期経営計画の進捗状況	34
05	トピックス	43
06	Appendix	62

01

# 概要

03

02

2025年10月期 第1四半期決算

21

03

2025年10月期 通期業績見通し

30

04

中期経営計画の進捗状況

34

05

トピックス

43

06

Appendix

62

# 会社概要（2025年1月31日現在）

商号	株式会社CAICA DIGITAL
事業内容	グループ会社の管理運営
設立	1989年7月14日
所在地	東京都港区南青山五丁目11番9号
代表	代表取締役社長 鈴木 伸 代表取締役副社長 山口 健治
資本金	50百万円
連結売上高	5,606百万円（2024年10月期）
決算期	10月
上場市場	東京証券取引所スタンダード

## 主要子会社

商号	株式会社CAICAテクノロジーズ
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>ITサービス事業</li><li>システムインテグレーション事業</li><li>DXソリューションサービス事業</li></ul>
設立	2019年10月7日
代表	代表取締役社長 鈴木 伸 代表取締役副社長 鈴木 偉真
資本金	301百万円

商号	株式会社カイカフィナンシャルホールディングス
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>Zaif INO運営事業</li><li>カスタマーディベロップメント事業</li></ul>
設立	2021年11月1日
代表	代表取締役社長 鈴木 伸
資本金	50百万円



# 主力事業の拡大に注力

CAICA DIGITALは「デジタル金融の世界を切り拓く」というコーポレートミッションのもと、暗号資産交換所 ZaifやEWJをはじめ、様々な形態の金融サービス業を行ってまいりました。

しかし、採算性の観点などから2023年10月期末に金融サービス事業の一部から撤退、2024年10月期以降は新たな体制で事業運営を行ってまいりました。結果、2024年第3四半期(5~7月)以降は各四半期利益において黒字化を達成、および通期の営業キャッシュフローは6期ぶりの黒字転換を達成しました。一方、保有していた暗号資産の評価損などに伴い、損益計算書上の通期利益はいずれも赤字となりました。

本2025年10月期は保有する暗号資産価格の下落に伴う損失も一巡し、損益計算書上でも連結黒字を達成する見込みであり、その源泉となる主力事業、ITサービス事業の拡大に注力してまいります。

## 代表メッセージ

AI、ブロックチェーン、ゼロトラストセキュリティ、クラウドといった革新的な技術が次々と登場し、さらには、企業のビジネスモデルや人々の働き方を大きく変えるDXが今まさに進んでいます。

こうした中、当社のITサービス事業は、システムインテグレーションを通じて高い価値を提供することでお客様と共に成長を図ってまいりました。当該事業については、引続き当社の主力事業として拡大を図るべく、サービスメニューの拡充をより一層進めてまいります。その一環でもありますが、「DXソリューションサービス」を2024年10月期中に新たに立ち上げました。これは、HCL SoftwareやPegasystemsといった海外大手ベンダーのソリューションを当社がパートナーとしてクライアントへ提供することで、クライアントのDXを成功させるものです。システムインテグレーション事業で培ったノウハウを存分に発揮し、ワン

ストップでクライアントの課題解決に資することができるよう努めてまいります。

また、金融サービス事業においても新規事業の創出に注力し、来たるWeb3時代においてトップランナーとなることを目指します。

足元ではNFTローンチパッドの「Zaif INO」を中心として、「カイカコイン」を活用したサービスを拡大しています。両サービスの拡大に伴い、収益の最大化を図ってまいります。

以上の施策により、連結業績においては必ず黒字化を達成します。

CEO代表取締役社長 鈴木 伸



# 当社のセグメント

当社は、安定的な収益を生む「ITサービス事業」、拡大するマーケットの中で収益獲得を見込む「金融サービス事業」から構成されます。ITサービス事業においては上流工程の獲得や、価格改定により、より強固な収益体制を目指します。金融サービス事業においては2023年10月期末の再編に伴い慢性的な赤字体質を改善し、グループへの貢献を図ってまいります。

## ITサービス事業

### ITサービス事業

ブロックチェーン等の最先端技術や豊富な開発実績を活かした自社開発のITサービスを販売しております。企業のデジタル・トランスフォーメーション（DX）化を実現します。

### システムインテグレーション事業

金融、ポイント・決済、公共・官公庁、EC・通販をはじめとした業界領域で培ったノウハウを基に、システムの企画検討から、設計・構築、運用・保守に至るまで、フロント、バックオフィスから基幹系システムを問わず最適なシステム提供をいたします。

### DXソリューションサービス事業

AIを活用したDXソリューションの開発を手掛けるベンダーと提携し、DXソリューションプロダクトの販売を行います。

## 金融サービス事業

### Zaif INO運営事業

審査制NFT販売所(一次販売)の運営を行います。Zaif INO が審査することで厳選された NFT を安心してご購入頂くことが出来ます。さらに、クレジットカード決済対応可能で、暗号資産をお持ちでない方でも簡単にNFTを購入頂けます。暗号資産不要・ウォレット不要で NFT が所有できる「NFT カード」も販売中。

### カスタマーディベロップメント事業

暗号資産や金融業界をはじめとした様々な業界に適応可能な顧客対応事業です。ご相談いただいた業務内容に合わせて、高水準のカスタマーサポートチームを提供するほか、カスタマーとの友好的な関係構築を支援いたします。

### 暗号資産発行・運用事業

自社発行暗号資産カイクコインを活用したサービス展開を行います。カイクコインのユーティリティ向上に伴う需要の増加により収益の最大化を図ります。

# 金融サービス事業の成長シナリオ

当社の金融サービス事業は一貫してWeb3領域における新規事業の開拓を行ってまいりました。審査制NFTローンチパッド「Zaif INO」の運営および、自社発行暗号資産「カイクコイン」を活用したサービスの展開などを行っております。今後、Zaif INOを中心に事業を拡大するとともに、カイクコインのユーティリティを向上させることで、Web3事業の成長を図ってまいります。



## ZaifINO会員特典



### Now Available



電子書籍読み放題

### Now Preparing



協賛店で特典獲得



特別なイベントに招待



特別なNFTを配布

# ITサービス事業の成長シナリオ

ITサービス事業は当社の売上の大部分を稼ぐ基幹事業です。従来までSES(System Engineering Service)や断片的な受託開発、保守運用の売上高比率が多くを占めておりました。一方、今期からは本格稼働となるDXソリューションサービスを軸とすることで、SIメニューをフルで提供し、需要の旺盛なDXニーズの獲得に努めます。

## フルSIを提供スタート

従来

追加システム開発

導入サポート

保守運用

DXソリューション

コンサルティング

設計

プロダクト販売



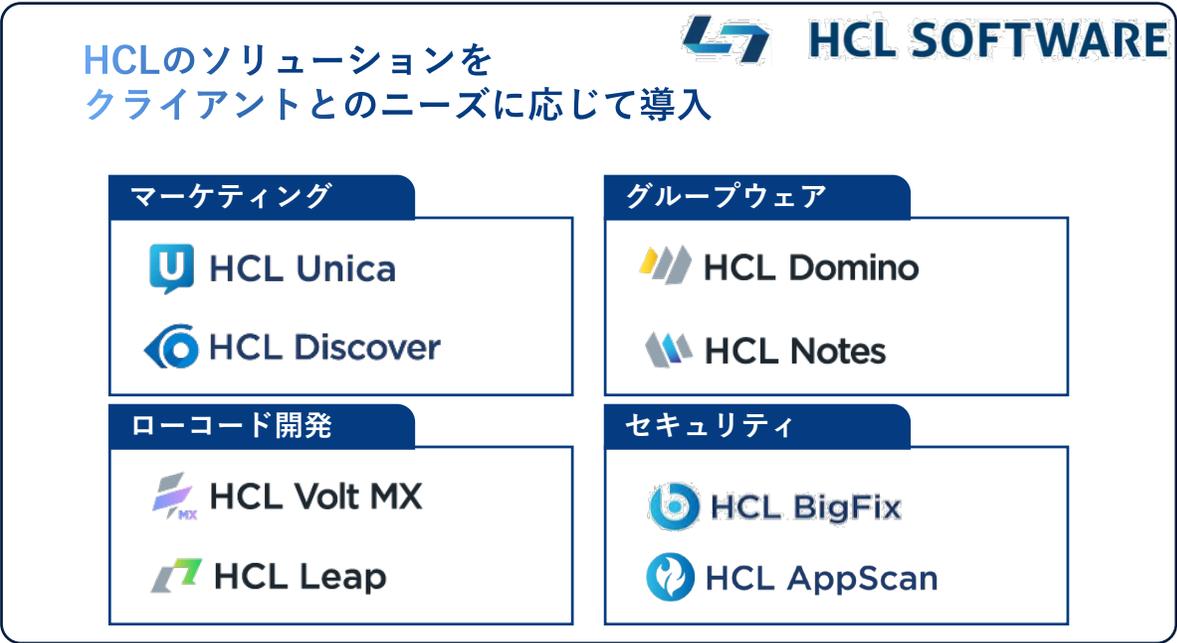
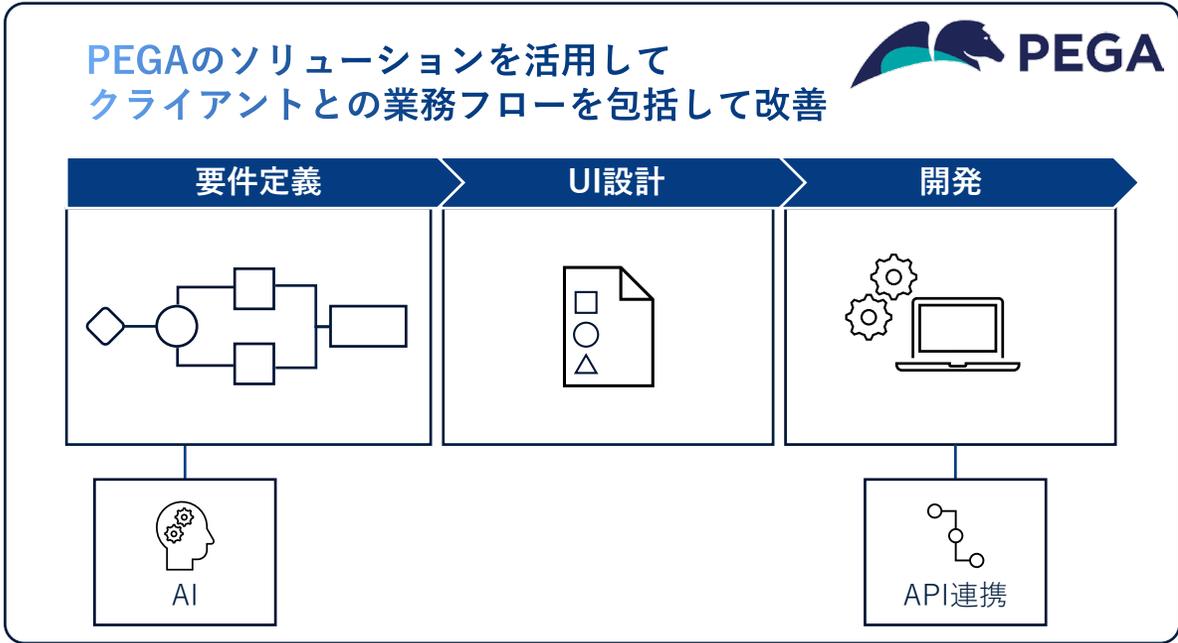
これまで手がけてきた分野とのシナジーにより  
さらなる高付加価値な提案を可能に

# HCLSoftware

上流フェーズで顧客課題を定義する  
コンサルティング力が顧客課題を後押し

# DXソリューションサービスの事業説明

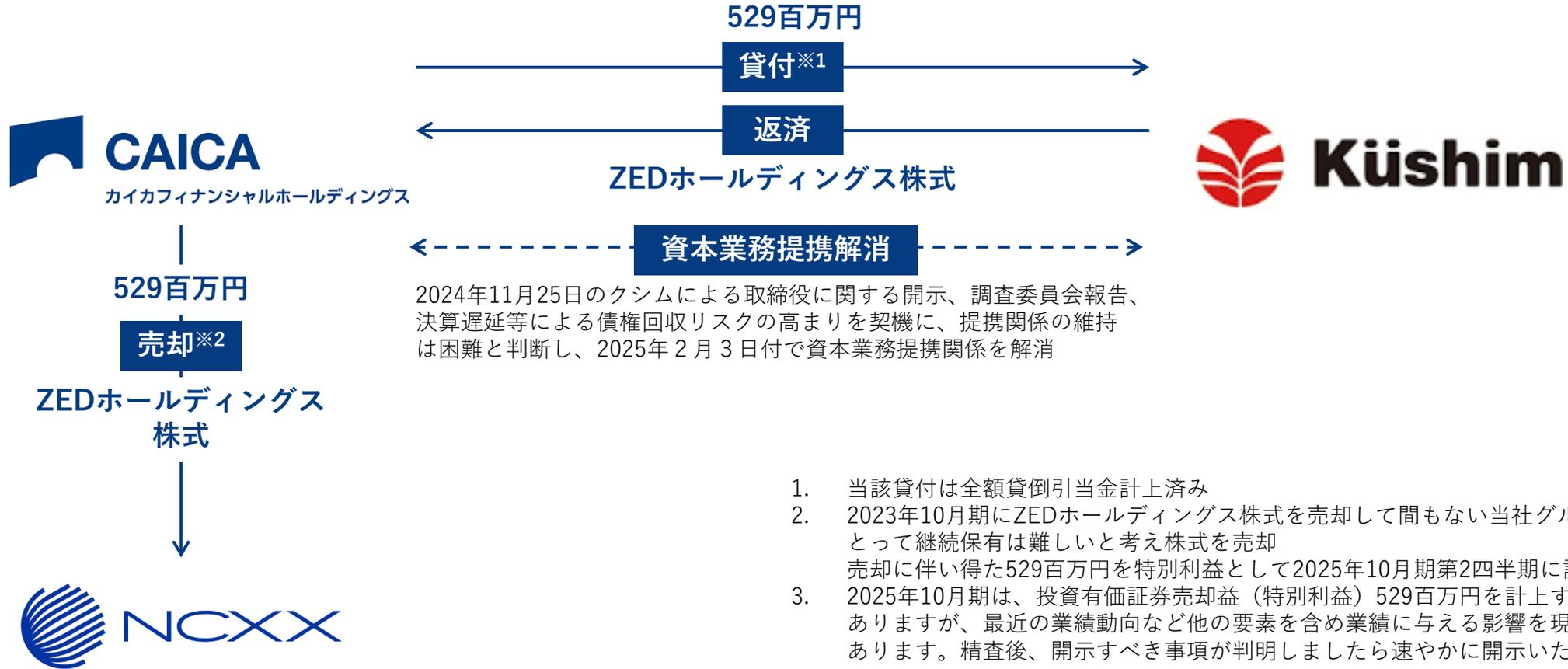
2024年10月期末より始動したDXソリューションサービスは、収益の柱であるITサービス事業における成長ドライバーとして位置付けております。DXソリューションサービスを起点として、顧客の根本課題を把握することで従来以上の価値を顧客に提供できるものと考えております。



PEGA社、HCL社からの案件の紹介および、既存クライアントへのクロスセルにより、既に期初計画を上回るリードを獲得  
今後、新規採用により人員を増員することで、今以上のペースで受注の計画

# 特別利益の計上見込みと資本業務提携の解消に関して

当社の連結子会社であるカイカフィナンシャルホールディングスは株式会社クシムに対して2025年1月31日を期日として、529百万円を貸し付けておりました。一方、クシムからは返済期限の延期を求められておりましたが、当社は応じず、代物弁済として、暗号資産交換所Zaifの運営会社を傘下に擁するZEDホールディングスの株式を取得しました。取得したZEDホールディングスの株式を株式会社ネクスグループへ売却したことで529百万円の特別利益を計上<sup>※3</sup>する見込みとなりました。



1. 当該貸付は全額貸倒引当金計上済み
2. 2023年10月期にZEDホールディングス株式を売却して間もない当社グループにとって継続保有は難しいと考え株式を売却  
売却に伴い得た529百万円を特別利益として2025年10月期第2四半期に計上見込み
3. 2025年10月期は、投資有価証券売却益（特別利益）529百万円を計上する見込みですが、最近の業績動向など他の要素を含め業績に与える影響を現在精査中であり、精査後、開示すべき事項が判明しましたら速やかに開示いたします。

01	概要	03
02	<b>2025年10月期 第1四半期決算</b>	<b>21</b>
03	2025年10月期 通期業績見通し	30
04	中期経営計画の進捗状況	34
05	トピックス	43
06	Appendix	62

# 2025年10月期第1四半期 業績ハイライト

## 売上高

前年同期比10.1%減

1,300百万円



## 営業利益

黒字転換

13百万円



## 純利益

黒字転換

10百万円



## 連結業績

- 売上高は期初計画の通り順調に推移。
- 各段階利益とも**黒字着地**。
- 進捗率は期初計画の通り**推移しており、通期見通しは達成可能。

## ITサービス事業

- 利益率向上を目的として、高単価案件の選別を継続中。
- DXソリューションサービスは海外ベンダーからの紹介および既存顧客へのクロスセルにより案件豊富。下期業績に大きく寄与する見込み。

## 金融サービス事業

- 新規事業開発フェーズとして着実に事業を進捗。
- 投資フェーズであり事業利益は赤字が継続する計画。
- 保有する「活発な市場が存在しない」暗号資産の大半について、2024年10月期中に備忘価格まで評価額を切り下げ済み。
- 上記の暗号資産を今後売却した際は、売却価額の大部分が利益として計上される見通し。

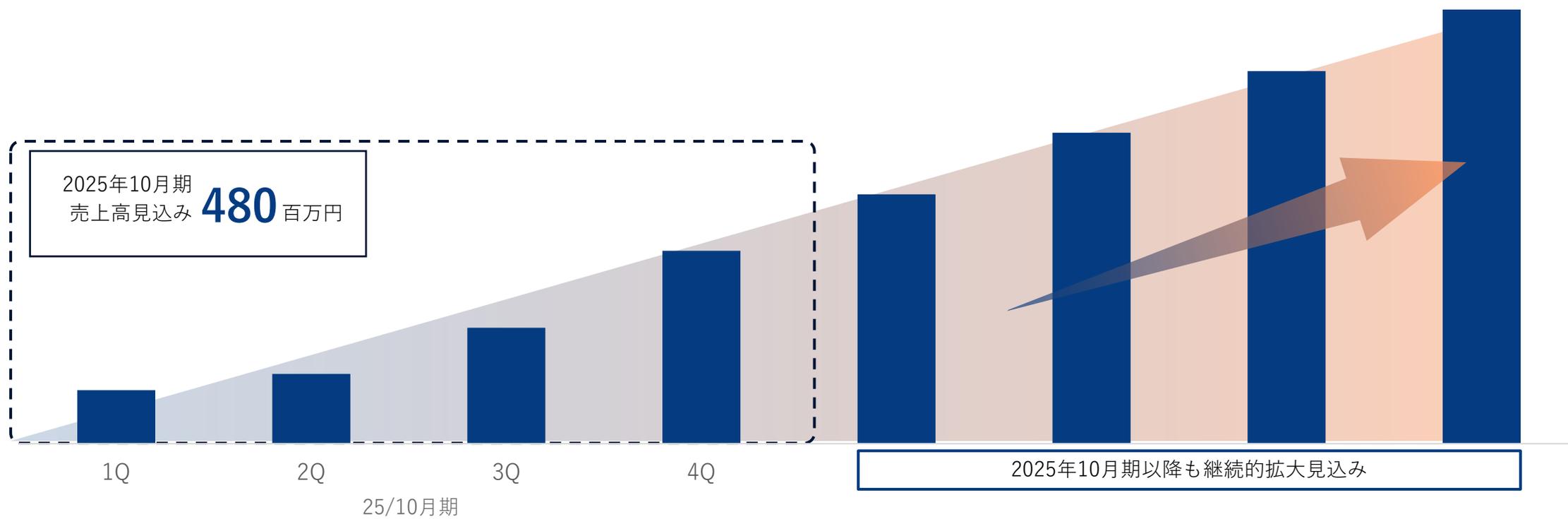
# 2025年10月期第1四半期 連結業績サマリー

当第1四半期は前期の第3,4四半期から継続して黒字を達成いたしました。ITサービス事業の案件の精査を継続していることを主因として、前年同四半期比で減収増益となりました。売上高については下期に伸長する計画です。各利益の通期見通しに対する進捗率は期初計画の通り僅かとなりましたが、売上の伸長に伴い拡大する見通しです。また第2四半期に529百万円の特別利益を計上する見込みです。

	24/1Q 四半期実績	25/1Q 四半期実績	前年同四半期比		通期見通し	進捗率
売上高	1,447	1,300	▲146	▲10.1%	6,220	20.9%
売上総利益	146	220	+73	+50.0%	-	-
売上総利益率	10.1%	16.9%	-	-	-	-
営業利益	▲77	13	+90	-	215	6.3%
営業利益率	-	1.0%	-	-	-	-
経常利益	▲121	16	+137	-	215	7.8%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	▲228	10	+238	-	196	5.6%

# DXソリューションサービスの売上高の進捗状況と今後の見通し

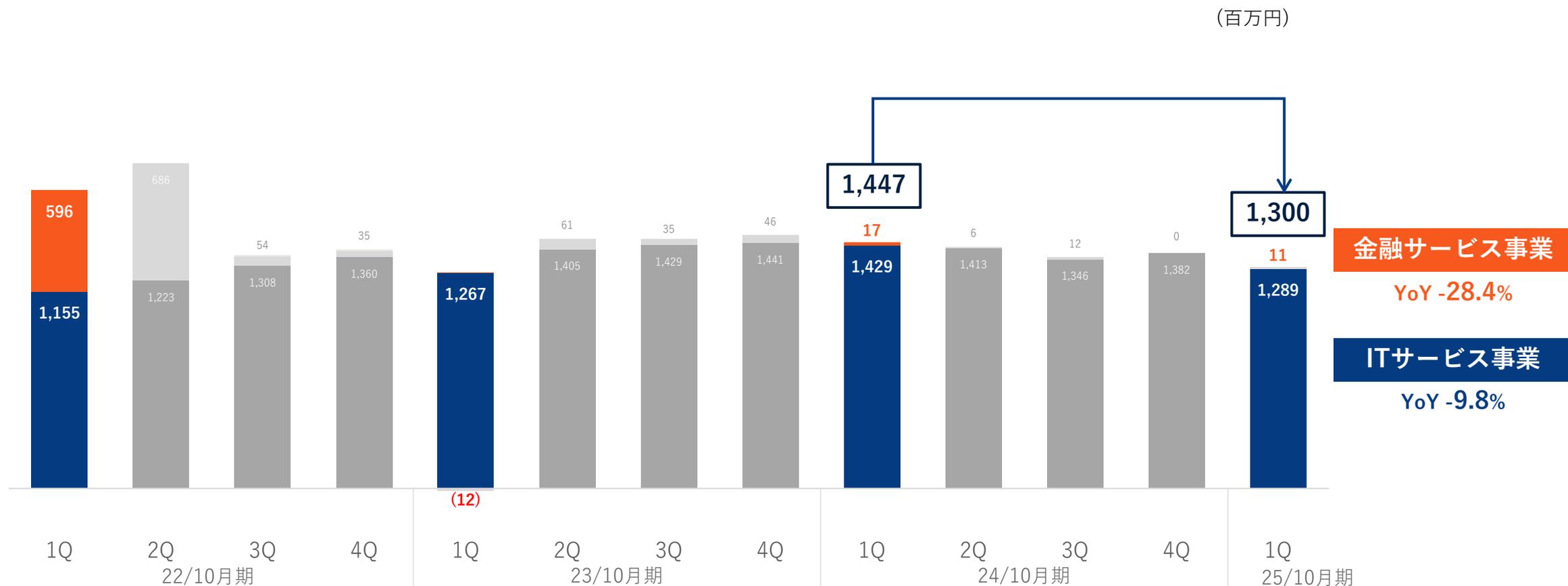
ITサービス事業の成長ドライバーであるDXソリューションサービスは新規事業のため、第1,2四半期中の業績寄与は僅かと想定しております。一方、ベンダーからの紹介により、すでに通期売上目標である480百万円を上回るリードを獲得しております。今後、更なるリードの獲得と早期の受注に努めます。



# 四半期毎の連結売上高推移※1

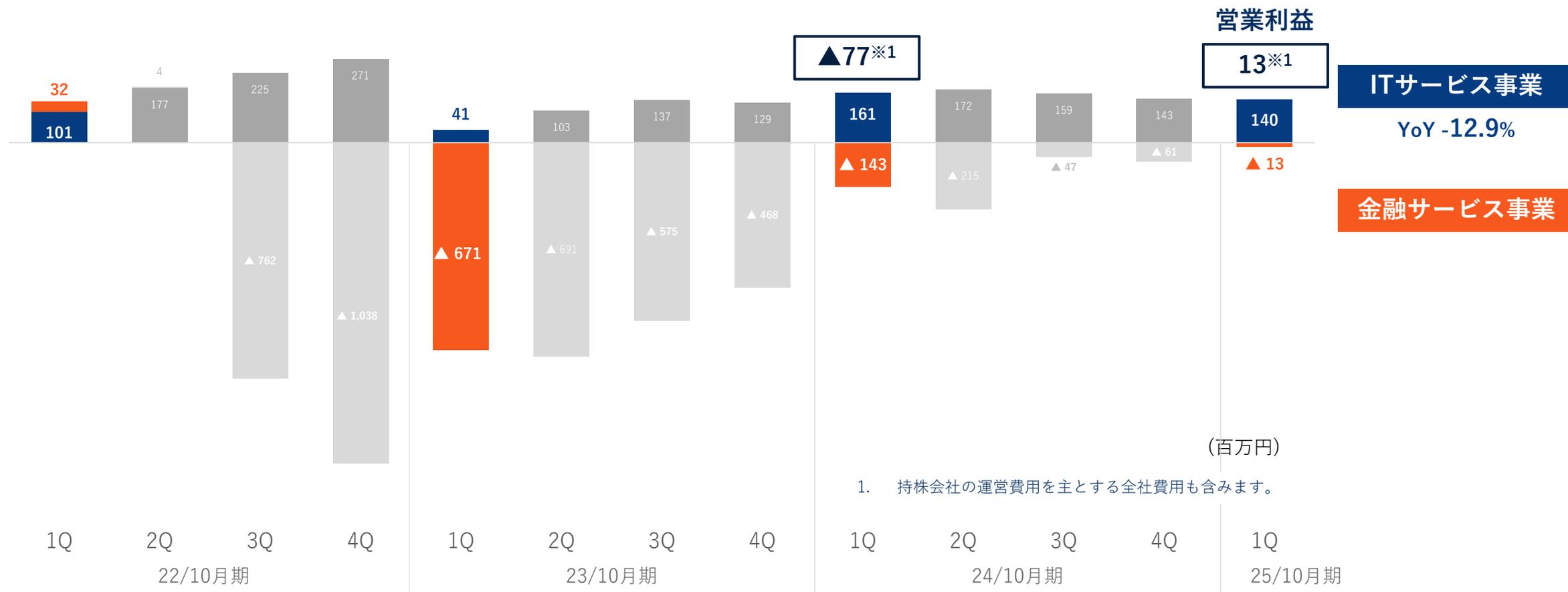
ITサービス事業は引続き高単価案件獲得のために案件精査を行なったこと、及びDXソリューションサービスの業績寄与が下期に偏重する見通しであることを要因として、売上高は減少しました。金融サービス事業は新規事業の創出フェーズにあり、売上高は僅かとなりました。

1. 内部取引控除後、金融サービス事業における暗号資産評価変更後の数字を記載



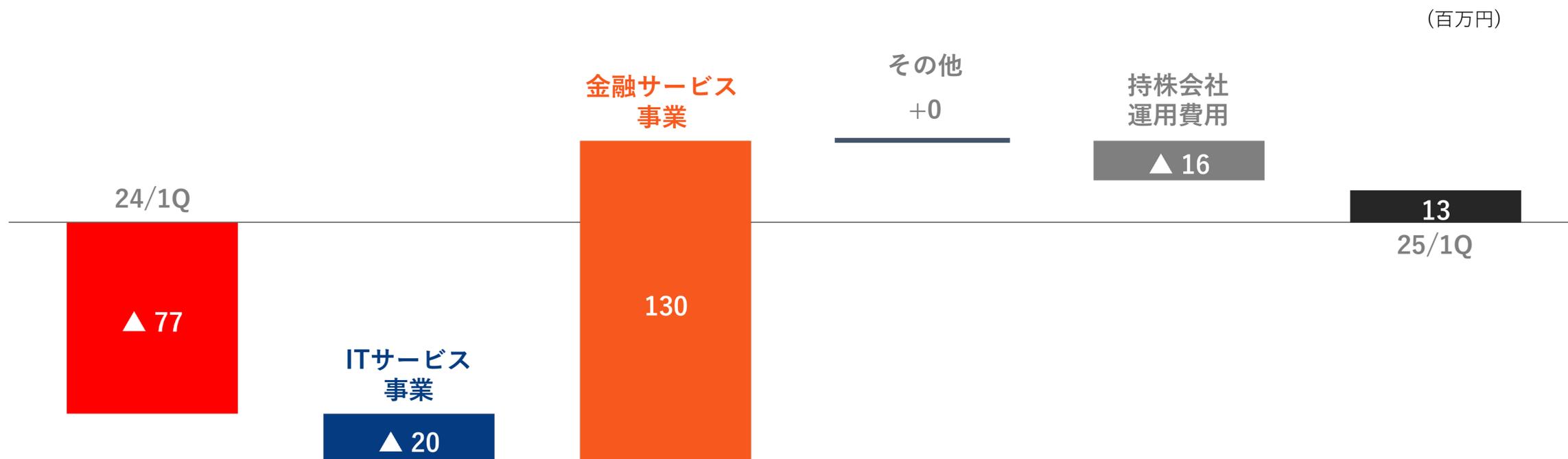
# 四半期毎のセグメント損益の推移

引続きITサービス事業が堅調に推移しております。金融サービス事業においても先行投資フェーズではあるものの、コスト構造の見直しを行った結果、赤字額は少額となりました。



# 四半期営業利益の増減要因について

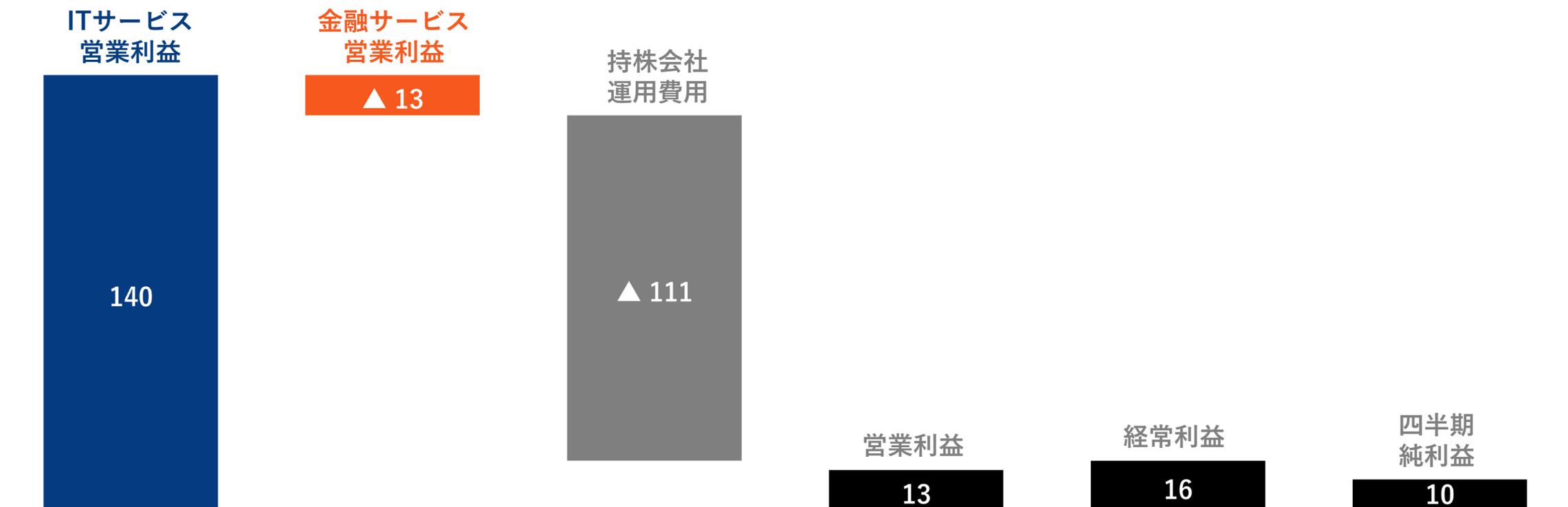
ITサービス事業では前述の理由により前年同期比で利益が減少しました。一方、金融サービス事業は暗号資産評価額の切下げを行なった前年同期と比較して、大きく改善しました。結果、営業利益は前期の第3,4四半期に引続き黒字の着地となりました。



# 四半期間における各利益の要因について

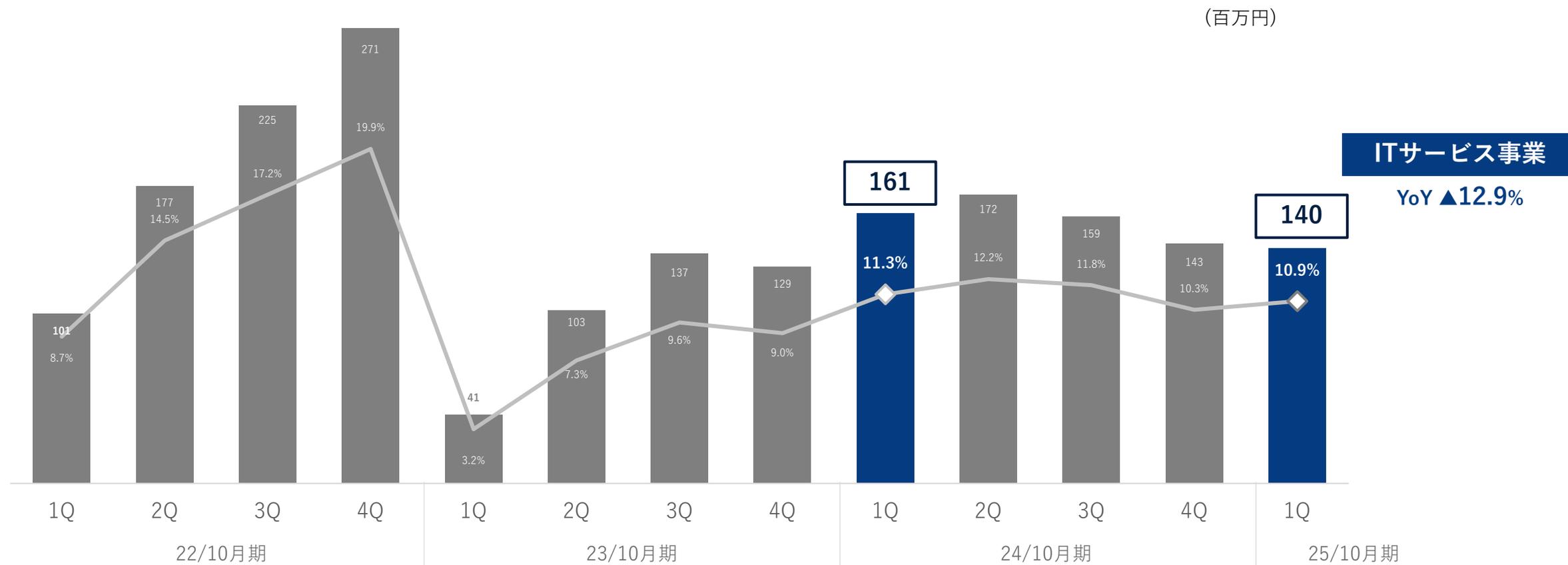
前期の第3,4四半期に引続き、ITサービス事業が牽引する形でいずれの利益ともプラスの着地となりました。第2四半期以降、さらにITサービス事業の利益が拡大することで各利益額は拡大すると見込んでおります。

(百万円)



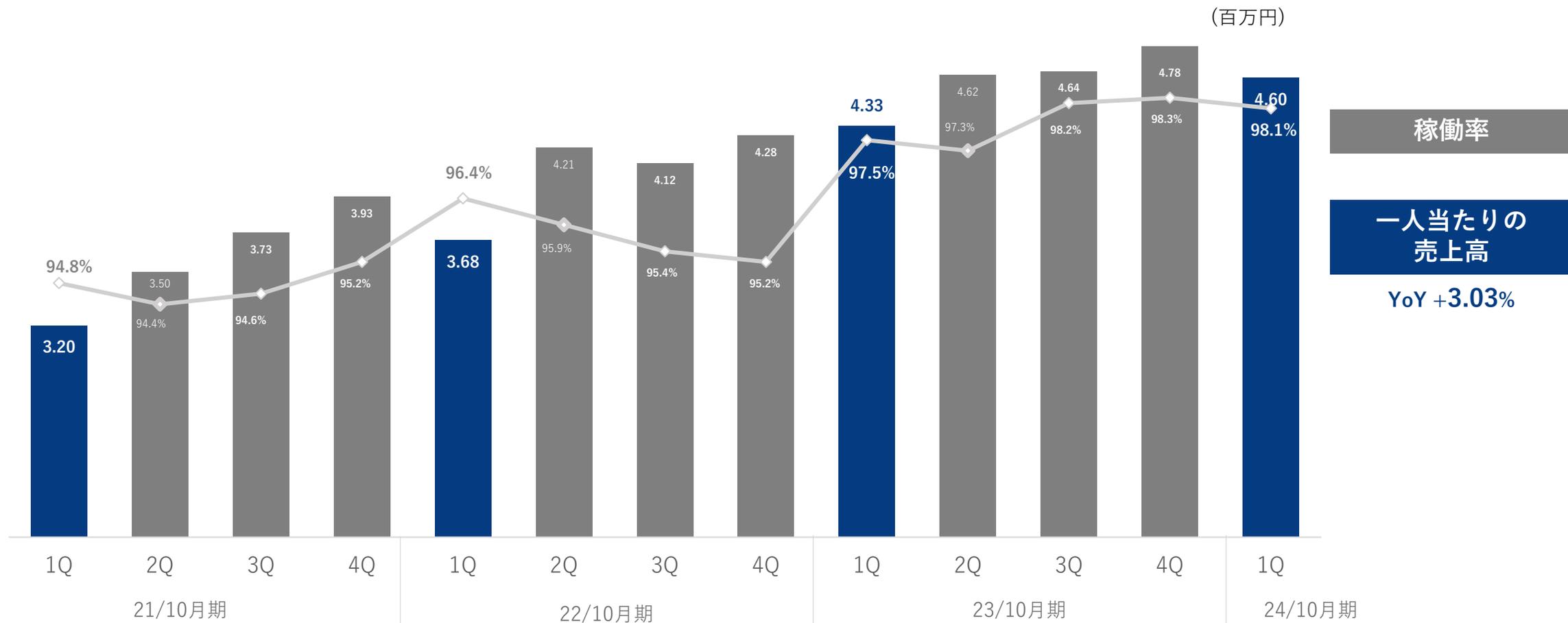
# 四半期毎のITサービス事業の営業利益率推移

高収益案件の獲得に努めた結果、引続き高い利益率を維持しており、利益率は10.9%となりました。



# 四半期毎のITサービス事業KPIの推移

引続き、ITサービス事業の一人当たりの売上高、稼働率ともに順調に伸長しました。新規事業であるDXソリューションサービスの拡大に伴い、案件単価の向上を図ることで一人当たりの売上高をさらに拡大させたいと考えております。



## 貸借対照表の推移について

当第1四半期は資本提携関係のもと保有する投資有価証券の価値が上昇したことに伴い、投資有価証券690百万円が増加したことを主因として、前期末比で総資産が608百万円、純資産が621百万円増加しました。自己資本比率は75.2%と高い水準となっております。

(百万円)	23/3Q	24/4Q	25/1Q		23/3Q	24/4Q	25/1Q
<b>資産の部</b>	65,334	2,425	3,034	<b>負債の部</b>	61,468	765	752
内 現預金	1,589	698	742	内 預り暗号資産	53,482	-	-
内 利用者暗号資産	53,482	-	-				
				<b>純資産の部</b>	3,866	1,659	2,281
				内 株主資本	3,805	1,807	1,817

01	概要	03
02	2025年10月期 第1四半期決算	21
<b>03</b>	<b>2025年10月期 通期業績見通し</b>	<b>30</b>
04	中期経営計画の進捗状況	34
05	トピックス	43
06	Appendix	62

# 2025年10月期 通期業績見通しハイライト

## 売上高

連結売上高**6,220**百万円

前期実績 5,606百万円

## 営業利益

連結営業利益**215**百万円

前期実績 ▲159百万円

## 経常利益

連結経常利益**215**百万円

前期実績 ▲263百万円

## 純利益

連結純利益**196**百万円

前期実績 ▲359百万円

## 2025年10月期 通期業績見通しサマリー

2025年10月期はITサービス事業のDXソリューションサービスを成長ドライバーとして売上高は前期比11.0%増を見込むとともに、各利益が黒字着地することを見込んでおります。なお、冒頭の説明の通り特別利益529百万円を計上する予定であり、純利益が大きく増加する見込みです。

	24/10月期 実績	25/10月期 業績見通し	前期比	
売上高	5,606	6,220	+615	+11.0%
営業利益	▲159	215	+374	-
営業利益率	-	3.45%	-	-
経常利益	▲263	215	+478	-
親会社株主に 帰属する当期純利益	▲359	196	+555	-

# 2025年10月期 業績見通し

## 連結業績

## ITサービス事業

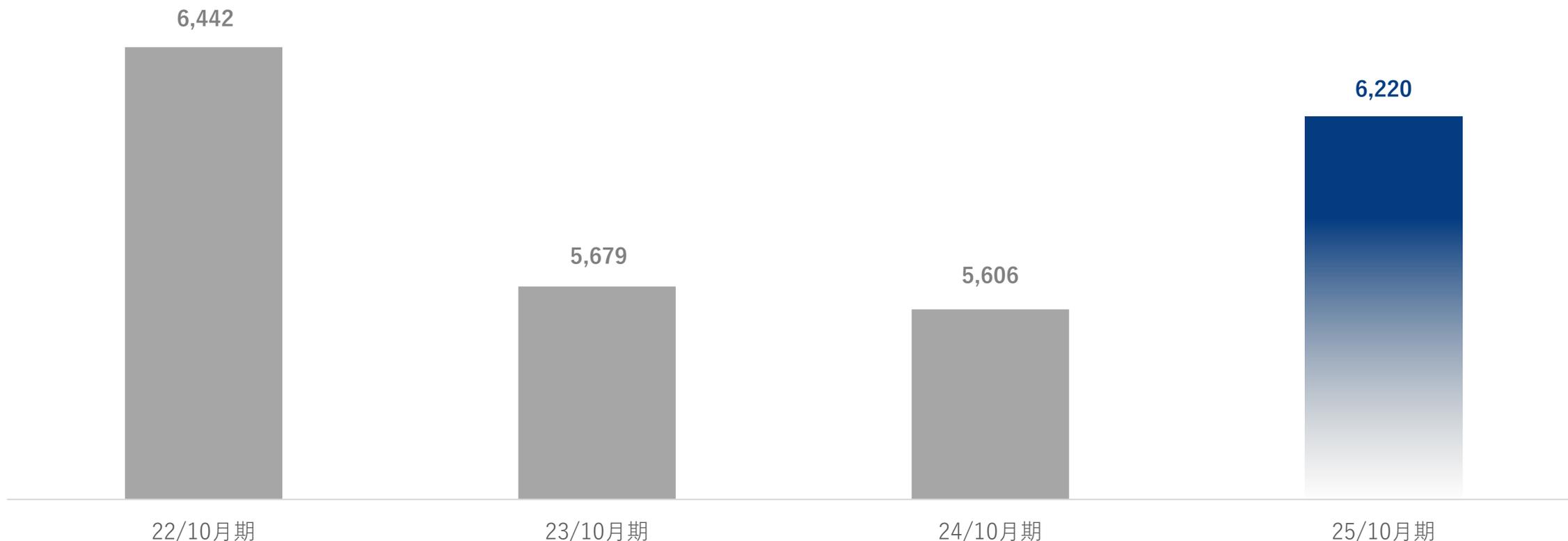
## 金融サービス事業

### 25/10期の見通し

- 堅調なITサービス事業を軸に**黒字化を見込む**
  - 暗号資産市場やユースケースの拡大に伴い、Web3.0 For Bizをはじめとしたソリューション事業の伸長を図る
  - 特別利益の529百万円の計上により当期純利益が大きく上振れする可能性を見込む
- 
- 売上高は前期比11%増を見込む
  - 既存事業において約1.2億円の増収を図る
  - 高単価案件の選別を継続し、更なる利益率の向上に努める
  - 新規事業DXソリューションサービスの立ちあがりに伴い4.8億円の売上高創出を図る
- 
- 保有する「活発な市場が存在しない」暗号資産の大半について、2024年10月期中に備忘価格まで評価額を切り下げ済み。
  - 上記の暗号資産を今後売却した際は、売却価額の大部分が利益として計上される見通し。
  - Zaif INOの取扱高拡大を図る

## 通期売上高※1の推移と要因

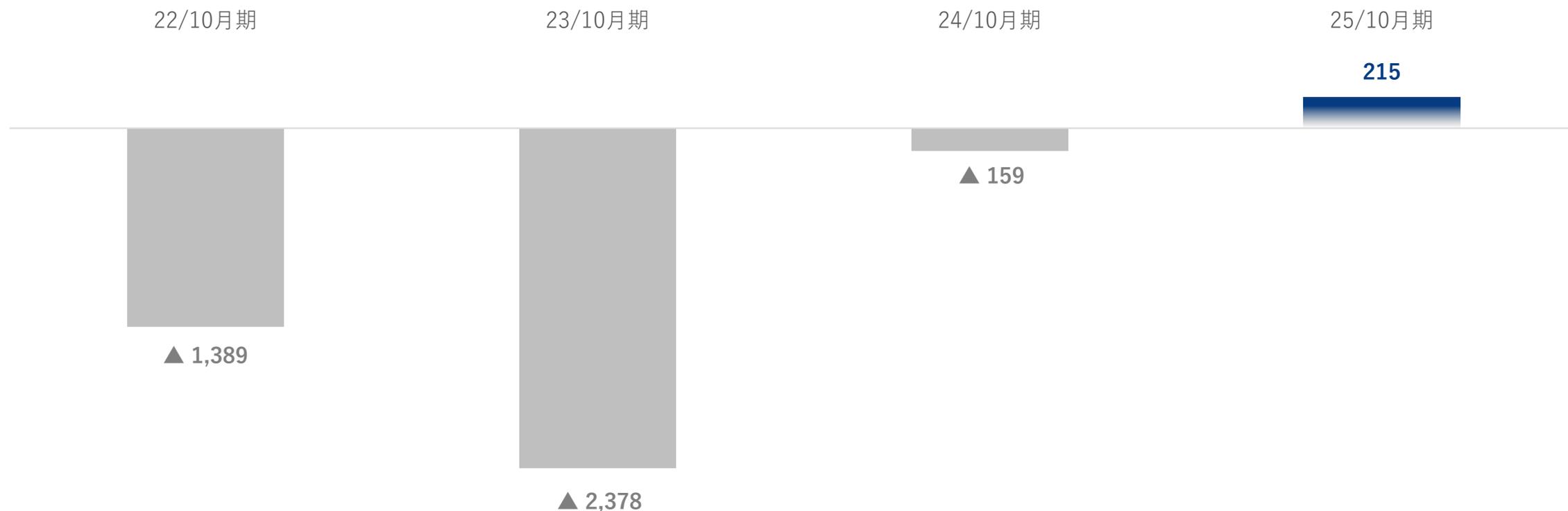
再編に伴う子会社の売却などの影響により直近数年売上高は横ばいの傾向にあります。一方、今後ITサービス事業において高単価案件の選別を行い利益率の向上を図るとともに中期経営計画に示した通り、今後M&Aや新規案件創出に伴い売上高を拡大させる見通しです。



1. 23/10月期以降の数字を遡及処理

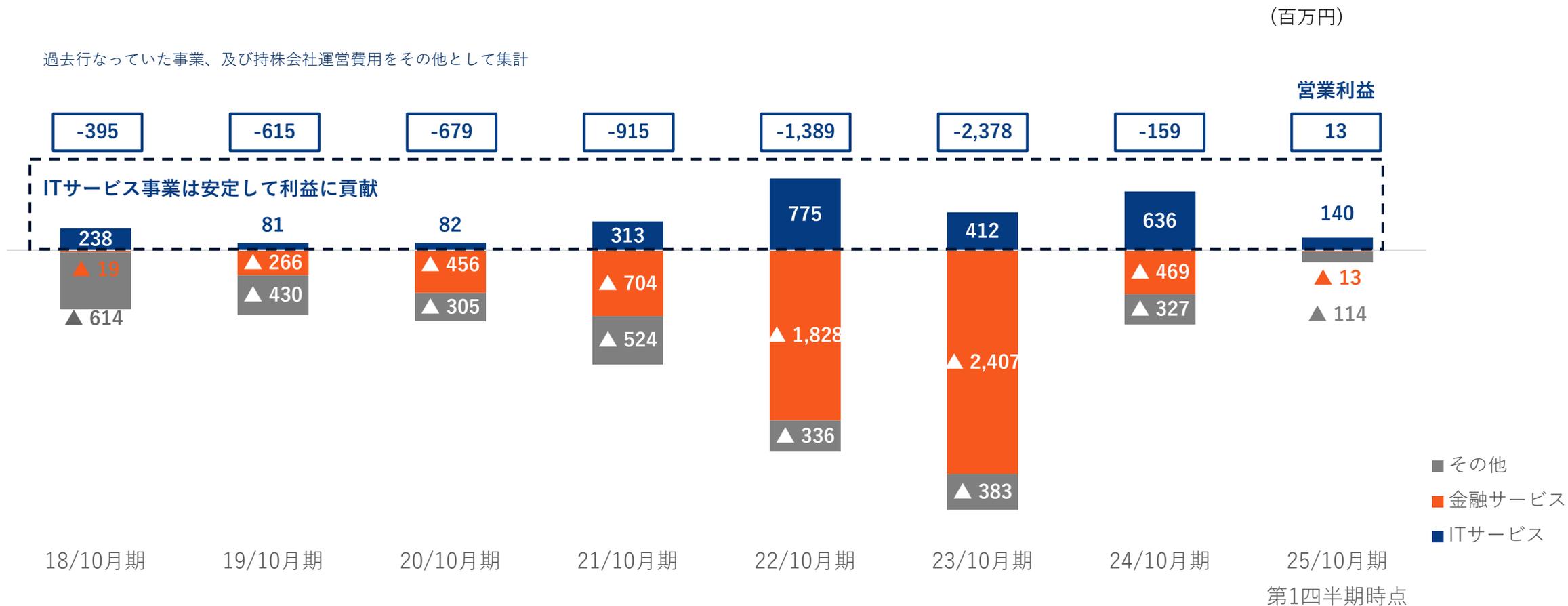
## 通期営業利益の推移と要因

直近数年は金融サービス事業への先行投資を主因として大きく赤字を計上しておりました。また前期は保有する暗号資産の評価を切り下げた影響により営業利益は赤字着地となりました。一方、今期はITサービス事業が着実に牽引する形で黒字着地を見込んでおります。



# セグメントごとの通期損益の推移と要因

2023年10月期までに事業再編を行い、以降、収支を大きく改善しました。



01	概要	03
02	2025年10月期 第1四半期決算	21
03	2025年10月期 通期業績見通し	30
<b>04</b>	<b>中期経営計画の進捗状況</b>	<b>34</b>
05	トピックス	43
06	Appendix	62

# 中期経営計画ハイライト

2026年10月期  
連結売上高**7,813**百万円

CAGR13%  
FY2023年実績比+44.6% ※1

2026年10月期  
連結営業利益**467**百万円

営業利益率6.0%

2026年10月期  
ITサービス事業人員**725**人 ※2

一人当たりの売上+8.5%  
FY2023年比+8.5%

販売管理費約**2,200**百万円減 ※3

1. 2023年10月16日に公表したものであり、2024年第2四半期に変更した活発な市場が存在しない暗号資産の評価損の表示方法の変更による影響は反映しておりません。
2. パートナー人員数を含みます。
3. 2023年10月期の通期実績をもとに算出しております。現在カイカエクスチェンジホールディングス、カイカエクスチェンジ、カイカキャピタルの譲渡、及びカイカ証券の第一種金融取引業廃止に伴う会計処理を行っており、増減する可能性があります。

# 中期経営計画サマリー

CAICA DIGITALは2023年10月期に事業再編を行い、長期的な成長を見据えて収益体制を再構築してまいります。その一環として3ヵ年業績計画を中期経営計画として開示致します。

「デジタル金融の世界を切り拓く」のスローガンのもと、複数の金融子会社をM&Aにより取得するが、暗号資産市場の低迷や関連規制の強化など、様々な要因により当初想定した利益が得られず

2018年10月期~2023年10月期



安定的に利益を計上していたITサービス事業の伸長を図るとともに金融サービス事業における収支の状況を抜本的に見直し、事業の集中と選択を図る

2023年10月期



ITサービス事業の伸長を図りつつ、金融サービス事業の運営経験を活かしたWeb3事業を展開

2023年10月期~2026年10月期

# 新しいCAICA DIGITALの体制図

CAICA DIGITALは安定したキャッシュ・フローを産むITサービス事業を基盤として、「デジタル金融の世界を切り拓く」というミッションのもと、更なるWeb3事業の拡大を図ります。またWeb3コンサル事業「CAICA Web3 for Biz」より、上流工程のSI案件を獲得することにより、ITサービス事業の収益性向上を図ります。

## 金融サービス事業



自社サービスの知見を活かしたコンサルティング事業

**CAICA Web3 For Biz**

## ITサービス事業

安定したキャッシュ・フローを産むSI事業

**CAICA テクノロジーズ**

上流工程を獲得し収益拡大のために  
**スクラム体制**を構築

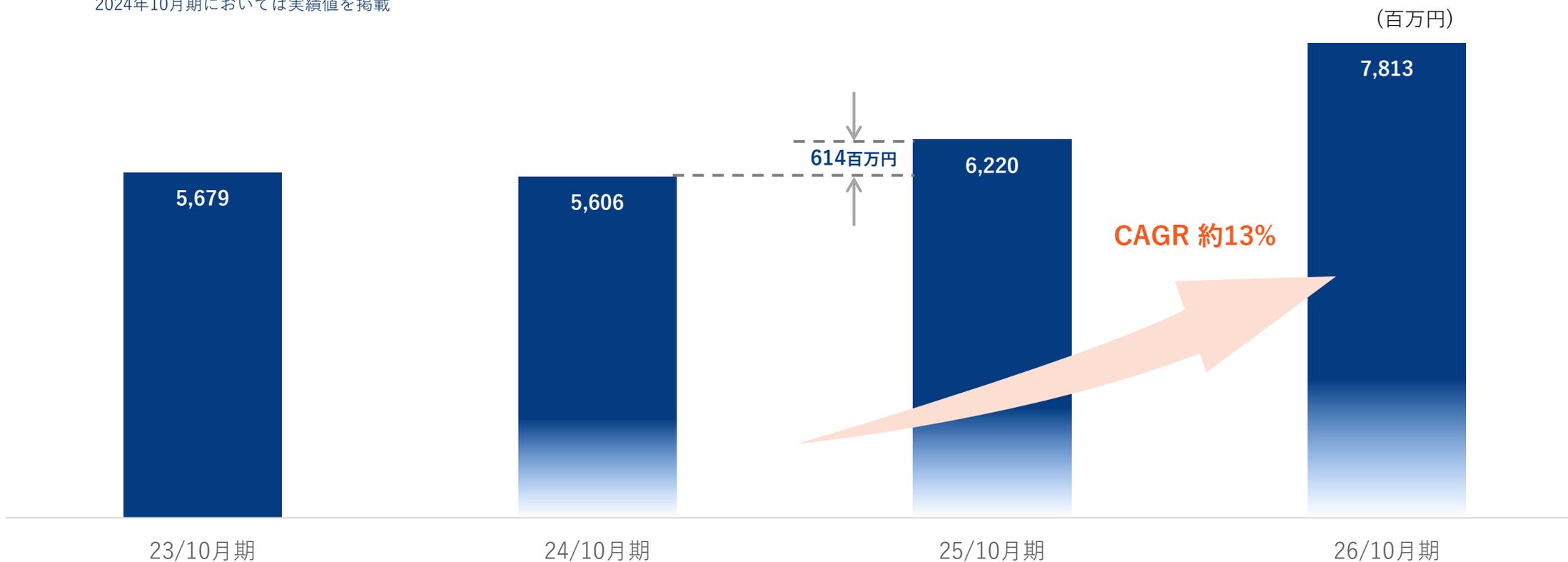
CAICA Web3 For Bizで生じたニーズをSI事業で網羅

**M&A活用による更なる事業拡大**

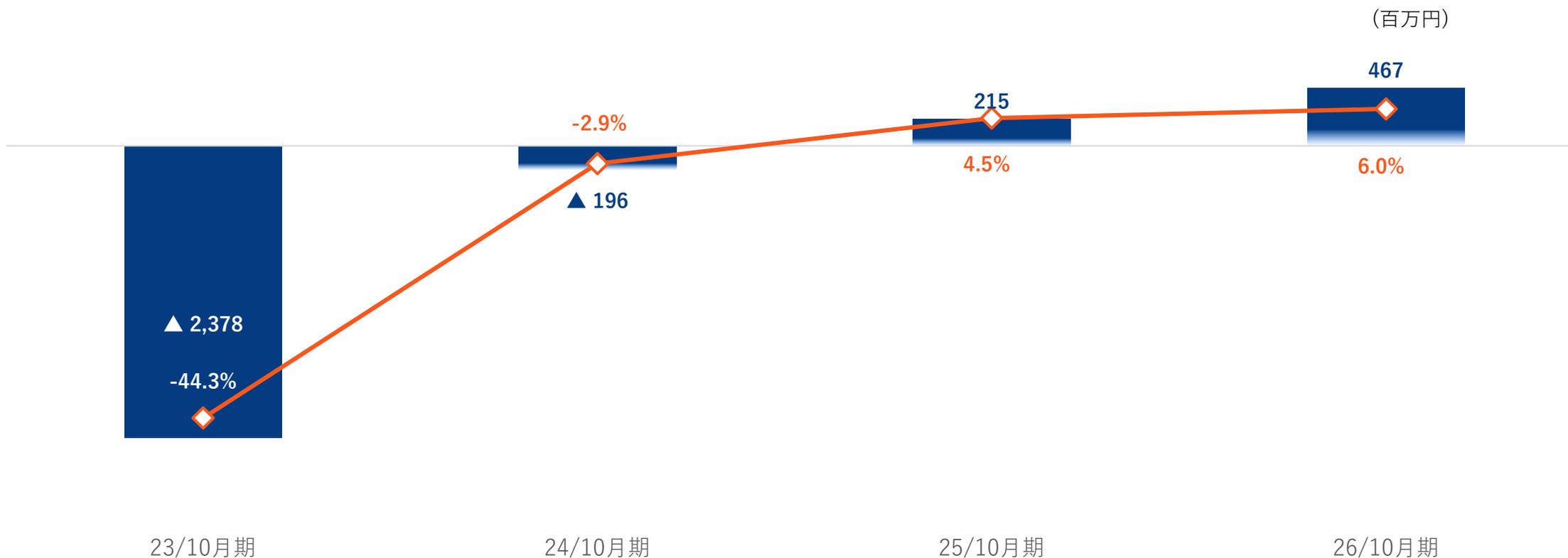
# 連結売上高見通し<sup>(1)</sup>

ITサービス事業、及び新規事業の伸長により2023年10月期～2026年10月期の間に年平均約13%の成長を目指します。

- 2023年10月16日に開示した中期経営計画を参考にグラフを作成  
2023年10月期は暗号資産の表示方法変更に伴い遡及処理  
2024年10月期においては実績値を掲載

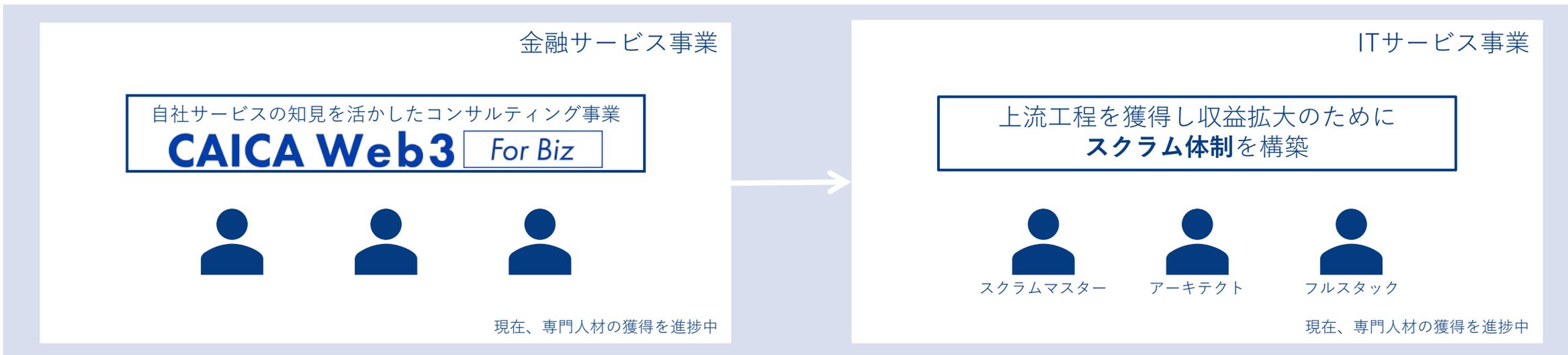


# 連結営業利益及び営業利益率の見通し



# IT×Web3により高単価案件を獲得

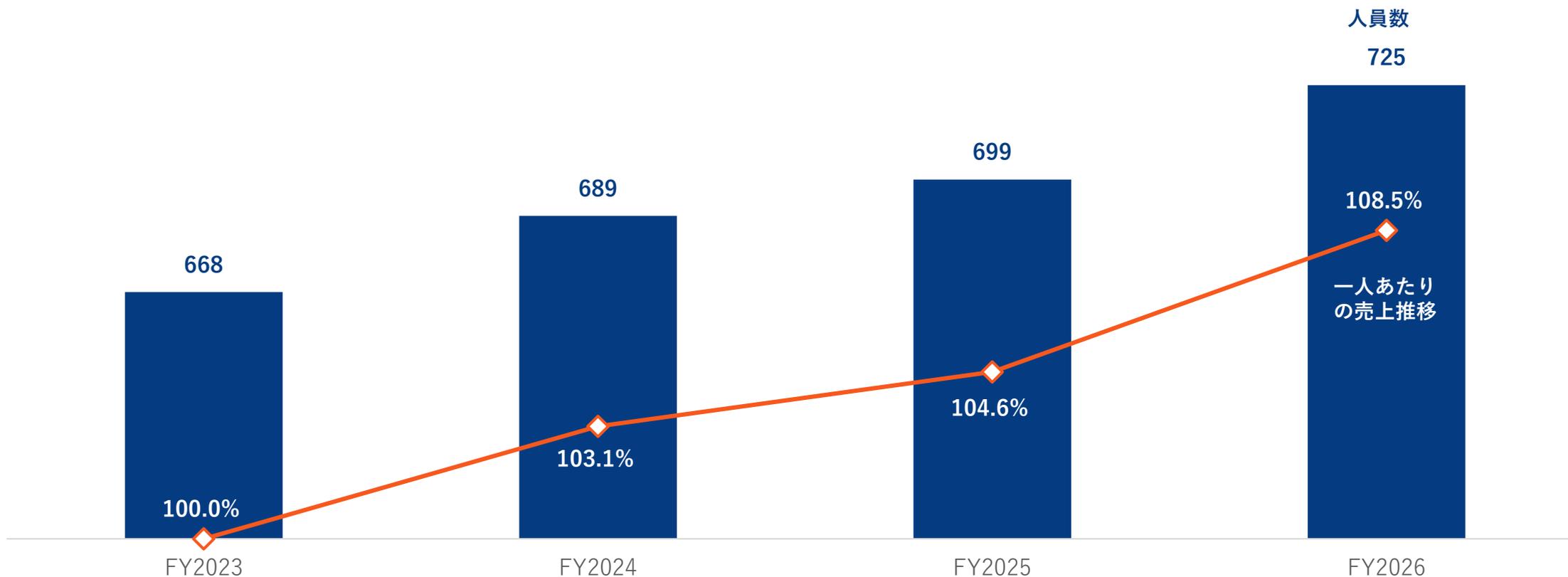
金融サービス事業で培った知見を活かし、ITサービス事業においてもWeb3領域の高単価案件の獲得を目指し利益率の改善を図り、最終年度の2026年10月期には営業利益率を6.0%まで向上させる見込みです。そのための手段として、2024年10月期よりコンサル人材、及びハイスペックなエンジニアの採用を進め、専門チームを組成します。



高単価案件を獲得し、将来的に**連結営業利益率6.0%**を目指す

## ITサービス事業の人員※1及び人員あたりの売上計画

ITサービス事業では人員の純増と併せて、一人当たりの売上増加を図りセグメント売上の伸長を図ってまいります。2026年10月期までに人員は57人純増の予定であり、一人当たりの売上は8.5%増加する想定です。



1. パートナー人員数を含みます。

01	概要	03
02	2025年10月期 第1四半期決算	21
03	2025年10月期 通期業績見通し	30
04	中期経営計画の進捗状況	34
<b>05</b>	<b>トピックス</b>	43
06	Appendix	62

## NFT漫画プロジェクト進行中！第3弾始動開始！

前期より開始した金融サービス事業の新サービスNFT漫画プロジェクトの第3弾が始動しました。弾3弾には日本各地を巡りながら一人旅漫画を描く井上いちろう先生が参加します。



[https://www.caica.jp/wp-content/uploads/2025/03/20250307\\_1\\_pr.pdf](https://www.caica.jp/wp-content/uploads/2025/03/20250307_1_pr.pdf)

[https://www.caica.jp/wp-content/uploads/2024/10/20241002\\_1\\_pr.pdf](https://www.caica.jp/wp-content/uploads/2024/10/20241002_1_pr.pdf)

[https://www.caica.jp/wp-content/uploads/2024/12/20241216\\_1\\_pr.pdf](https://www.caica.jp/wp-content/uploads/2024/12/20241216_1_pr.pdf)

## ZaifINOライブラリ「電子書籍読み放題」サービス開始

ZaifINOメンバーズカードをスマホにかざすだけで、実業之日本社が提供する電子書籍が購読可能となります。今後メンバーズ限定のサービスを拡充させてまいります。



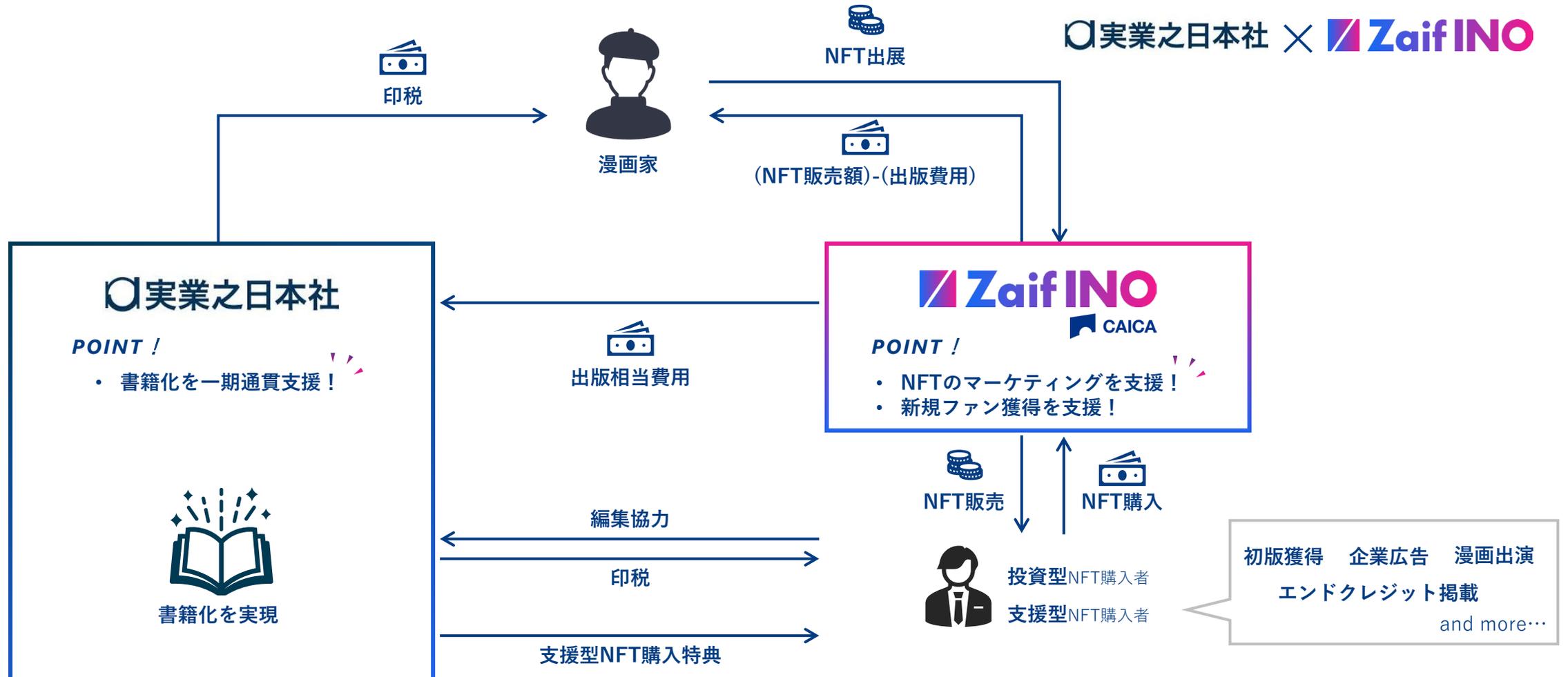
初回購読可能な書籍は、月刊誌「ワッグル」（ゴルフレッスン専門誌）、月刊誌「ライダーズクラブ」（スポーツバイクライディング）専門誌の2誌です！



# NFTカードを活用した「NFT漫画プロジェクト」始動！

Zaif INOと実業之日本社が協業し、NFTを通じて漫画家さんの出版活動を応援する「NFT漫画プロジェクト」を開始しました。支援型漫画NFTと投資型漫画NFTの2種類のNFTを販売し、NFT出版、電子出版、紙書籍出版の3つのスタイルで出版を目指します。Zaif INOから、暗号資産不要・ウォレット不要でNFTが所有できる「NFTカード」形式で販売します。

実業之日本社 × Zaif INO



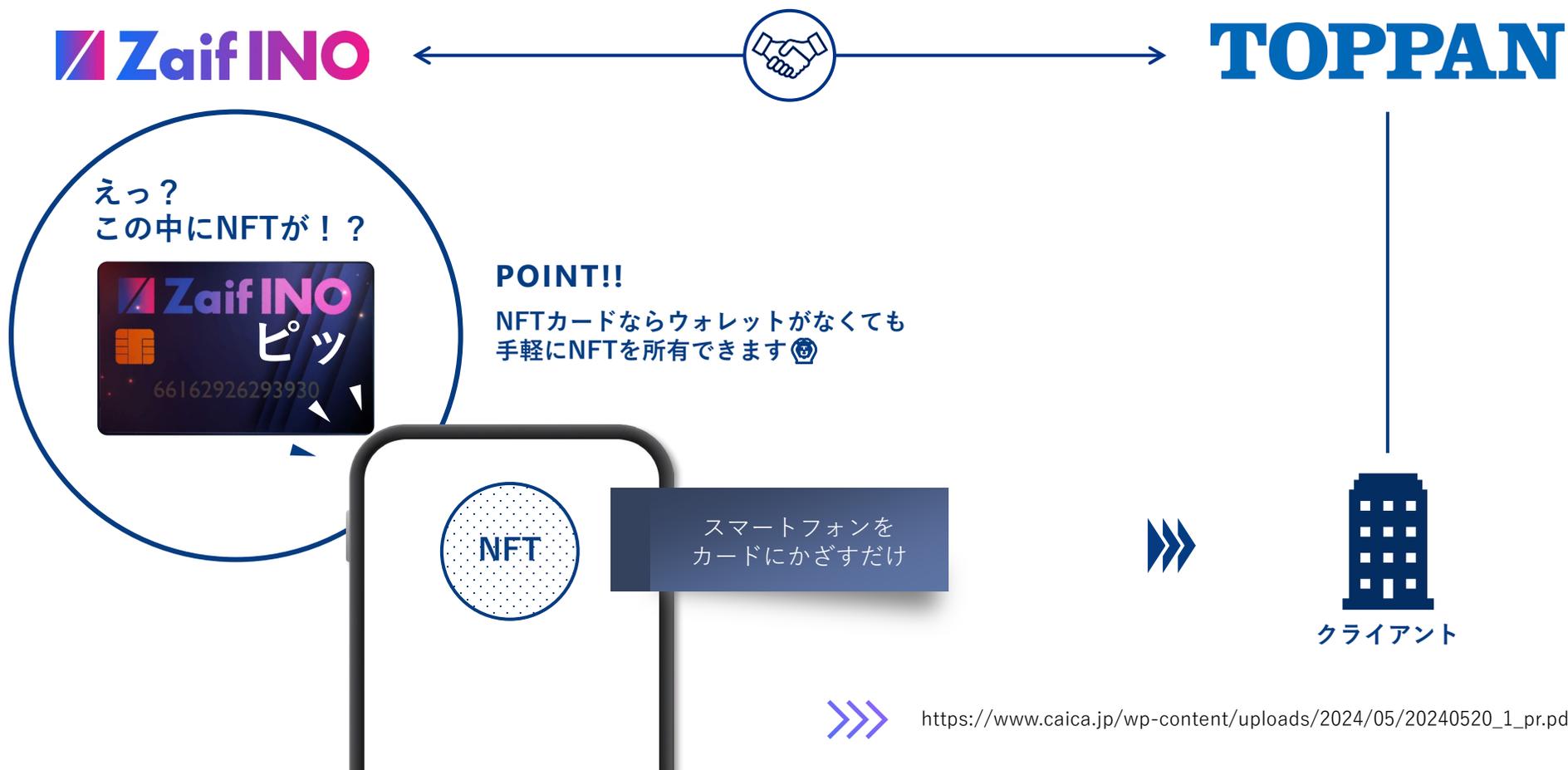
## DX対応の加速：HCL Technologies社と基本再販業者プログラム契約を締結

当社は予めよりHCL Technologies社とパートナー契約を締結しておりましたが、2024年8月、同契約が基本再販業者プログラムへと昇格しました。これによりディストリビューターを経由せずにHCL Technologies社のDXソリューション製品を販売可能となりました。コンサルティングから製品導入、保守運用まで、DXニーズへの対応を加速する体制が整い、事業拡大を進めてまいります。



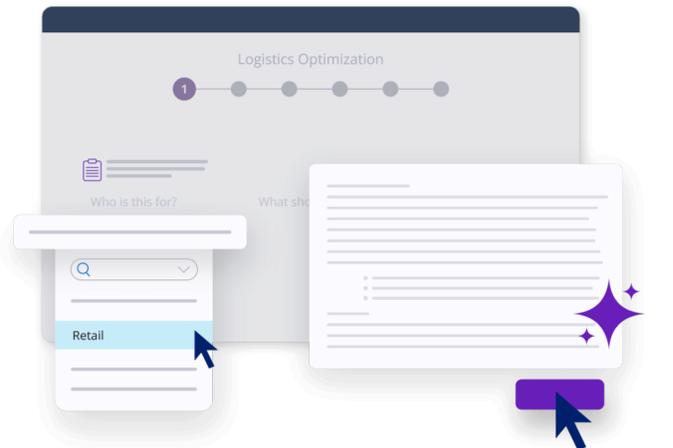
## Web3領域におけるNFT活用連携、サービス/プロダクト共同開発推進の進捗状況

プレスリリース「CAICA DIGITALとTOPPAN、Web3 領域におけるNFT活用で連携」の通り当社グループの運営するZaif INOはTOPPANと代理店契約を締結しております。その後、TOPPANのクライアントに対してNFCタグ機能を活用したNFT配布サービスを提供致しました。NFC タグ機能の活用により、Web3ウォレットを所有していないユーザーに対してNFT付与が可能となります。

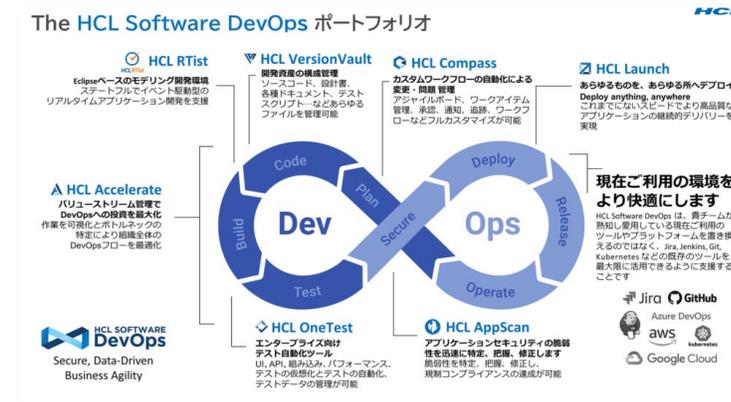


## HCL Softwareのパートナーに認定、Pegasystemsとパートナーシップ契約締結

ITサービス事業においてクライアントのDX加速を目的として、HCLSoftware社のパートナーに認定されました。またPegasystemsとパートナーシップ契約を締結しました。これにより当社グループは、コンサルティングからソリューション導入、運用保守までをワンストップで提供することが可能となりました。



<https://www.pega.com/ja>



<https://www.hcljapan.co.jp/software/>



[https://www.caica.jp/wp-content/uploads/2024/04/20240423\\_1\\_pr.pdf](https://www.caica.jp/wp-content/uploads/2024/04/20240423_1_pr.pdf)

[https://www.caica.jp/wp-content/uploads/2024/01/20240104\\_1\\_oshirase.pdf](https://www.caica.jp/wp-content/uploads/2024/01/20240104_1_oshirase.pdf)

## カイクォインで購入可能なNFT第一弾「Zaif INOデジタルプレミアムチケット」販売

カイクォイン山分け企画の参加権、今後販売を予定しているオリジナルNFTプレセールAL確定枠権、オリジナルNFT先行情報取得権、ホルダー限定コミュニティ参加権等、様々な権利を内包するZaif INOオリジナルNFT、Zaif INOデジタルプレミアムチケットの販売を決定しました。



The graphic features a dark blue background with a glowing purple and pink 'Zaif INO' logo. A stylized credit card is shown with the number '66162926293930'. A white box on the left contains the following information:

**デジタルプレミアムチケット  
第三弾!!**

- 👑 コイン山分け企画参加権
- 👑 オリジナルNFT AL確定枠
- 👑 NFT山分け企画参加権

**発行枚数 200枚**  
**販売価格 100 MATIC  
2,000 CICC**

※内容は予告なく変わる可能性があります。



## CAICA DIGITAL 公式Xアカウント開設のお知らせ

この度、株主・投資家の皆様に向けてより広く情報をお届けすることを目的として、CAICA DIGITAL 公式Xアカウントを開設し、2025年3月7日より運用を開始いたしました。

### CAICA DIGITAL 公式X

アカウント名	CAICA DIGITAL
ユーザー名	@caicad_inc
URL	<a href="https://x.com/caicad_inc">https://x.com/caicad_inc</a>

### カイカコイン 公式X

アカウント名	カイカコイン
ユーザー名	@CAICA_COIN
URL	<a href="https://x.com/CAICA_COIN">https://x.com/CAICA_COIN</a>

### ZaifINO 公式X

アカウント名	Zaif INO   NFT販売所
ユーザー名	@zaif_ino
URL	<a href="https://x.com/zaif_ino">https://x.com/zaif_ino</a>



01	概要	03
02	2025年10月期 第1四半期決算	21
03	2025年10月期 通期業績見通し	30
04	中期経営計画の進捗状況	34
05	トピックス	43
06	<b>Appendix</b>	<b>62</b>



## カイカコインとは

株式会社CAICA DIGITAL(証券コード：2315)が発行するイーサリアムネットワーク上で運用されるERC20規格に準拠した暗号資産です。2023年にはPolygon対応を完了し、マルチチェーン対応のコインへと進化しています。また2025年3月現在、国内暗号資産交換所Zaif及び、海外取引所FinexBoxに上場しています。

カイカコインは上場企業CAICA DIGITALが発行し、8年に及ぶ運用実績を持つアルトコインです。

CAICA DIGITALの責任のもと活用シーンの増加に資することでさらなるカイカコインの価値向上に努めてまいります。

## カイカコイン発行状況

発行可能枚数	300百万CICC
上場取引市場	Zaif(国内) FinexBox(海外)
時価総額※1	339百万円
取引価格※1	1.13JPY/CICC

1. 3月14日現在の時価、及び現時価を参考に算出

# バリューアップの三つの視点

01

## 市場環境好転

BTC価格の上昇、金利のピークアウトなどカイカコインにとって好材料となる市場環境が整いつつあると考えます。

02

## 実績と信頼

数多に存在するアルトコインの中で、カイカコインは約8年間に渡り上場企業の当社が運用してきた実績を誇ります。

03

## 用途拡大に伴う需要の増加

カイカコインはGameFiで活用されるゲームコインを目指しております。ゲームコインとしての利便性が拡がり、需要が増すことで価格の上昇が見込めると考えます。

## 本資料について

- 本資料は、株式会社CAICA DIGITAL（以下、当社）の決算情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。実際の投資に際しては、ご自身の判断と責任において投資判断を行って頂きますようお願い致します。また、本資料の記述内容につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。
- 本資料には、当社および連結子会社の計画など将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、作成時点において入手可能な情報に基づいており、様々なリスクや不確実性が内在しています。従って、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。
- 本資料は一部(百万円)または(千円)以下を切捨てて掲載しております。一方、前期比等については切捨て前の数字を参照し計算しております。